

<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>ものづくり教育により、技術力・判断力・行動力を兼ね備えた工業人材を育成する学校</p> <p>充実した実験・実習を中心としたものづくり教育により、自己指導能力を身に付け、自ら考え、判断して実行する力を持つ、自立した工業技術者を育成します。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化に対して柔軟な発想をもち、目的を持った行動ができる人材の育成</li> <li>・生徒自らが探究心を持ち、自らの可能性を発揮し発想力に富む人材の育成</li> <li>・最先端技術に関する専門的知識・技術を身に付けた人材の育成</li> <li>・社会生活に必要な知識と教養を高めるための人材育成</li> <li>・心身の健康を大切に考え、他者の能力を認め合う協働性を兼ね備えた人材の育成</li> </ul>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度熟練者による直接指導の実施</li> <li>・最先端技術に関する実習・課題研究等の充実</li> <li>・生徒にとって必要な資格検定等取得するための指導の充実</li> <li>・各学科の特色あるインターンシップの充実</li> <li>・各研究部を中心とする「ものづくりコンテスト」等への積極的な参加</li> <li>・生徒が希望する進路に応じた多様な選択科目の設定</li> <li>・授業内容の理解度に応じた習熟度別クラス編成の設定</li> </ul>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標とする進路実現を目指し努力ができる人</li> <li>・工業に関するものづくりに興味がある人</li> <li>・専門的な資格取得を目指し努力ができる人</li> <li>・専門分野の資格を活かした仕事に従事することを目指し努力ができる人</li> <li>・社会に貢献できる人材として意志を持ち、努力ができる人</li> <li>・運動系、文化系の各種大会で活躍したい意思を持ち、努力を継続できる人</li> </ul>

<p>学校運営計画(4月)</p>			
<p>学校運営方針</p>	<p>校訓の精神と教育目標を継承した上で、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するために、「Challenge(挑戦)、Creation(創造)、Collaboration(協働)、Contribution(貢献)」を学びのキーコンセプト(4C)とする実践的・体験的な教育活動を推進する。</p>		<p>評価(総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p><b>【成果】</b> 新型コロナウイルスの取扱いが5類へと移行し、体育祭や文化祭、修学旅行などの学校行事が実施できたことは大変良かった。部活動では、陸上競技部が北海道で開催されたインターハイに、ラグビー(10人制)、少林寺が熊本で開催された九州大会に出場できたことは素晴らしいことである。文化系では、情報技術研究部eスポーツ班をはじめ電子機械研究のロボット競技大会は、全国大会に出場し、ものづくりコンテストでは、土木科の「測量部門」、工業化学科の「化学分析部門」が熊本県で開催された九州大会に出場した。また、福岡県の生徒研究発表会では、土木科の「東京ゲートブリッジ(恐竜橋)模型製作」と題して研究の成果を発表し、奨励賞を受賞した。部活動やものづくり、資格取得など多方面に渡り活躍するなど文武両道における素晴らしい成果を上げることができた。</p> <p><b>【課題】</b> 目標と指導と評価の一体化に努め授業改善の推進と意欲的な学習態度の育成、自己指導能力の育成、生徒会活動等生徒の主体的活動の更なる推進。更に「学校いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ問題の未然防止、早期発見及び学校のブランド力を再構築し、広報活動に努めることで生徒募集の拡大を図る。また、IT自動車科の科名変更に伴い、指導内容の充実発展に努め生徒の進路先の拡大、満足度向上に繋げたい。</p>	<p>新学習指導要領をもとに授業改善・充実に努め、観点別評価を定着させて、教科指導力の向上を図る。 ・ICT端末を使って課題を発見したり、情報を収集したり、効果的に表現する等「学習に必要な道具」として生徒達が主体的に学ぶ力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びのためのアクティブラーニング型授業の推進やICT機器の活用を図る。</li> <li>・目標と指導と評価の一体化を推進し、授業改善・充実に繋げる。</li> <li>・指導と評価の一体化を目指した学習評価のあり方を検討し、目標に準拠した評価・観点別評価を定着させる。</li> <li>・外部模試及び資格検定試験等を有効活用し、学ぶ姿勢を含めた学力向上を図る。</li> </ul>	
	<p>積極的な生徒指導を基本とし、他人が見ていない所で努力する生徒の育成を推進する。 ・民法改正に伴う成年年齢の引き下げにより、さらに自己指導能力の育成を図るとともに、心豊かな人間の育成を目指し、八工生としての誇りと責任感を醸成する。 ・生徒に対して交通安全マナーを徹底させ、交通事故を減らす。</p>	<p>挨拶、マナーや交通安全等、生活全般にわたる積極的な生徒指導を展開し、社会人として求められる資質能力を生徒自身が理解し身につける取組を実施する。 ・生徒会活動を中心とする生徒の主体的取組を促し、自ら考え判断し行動する生徒育成を行う。 ・生徒が主体的に運営する学校行事や部活動を展開することにより、全生徒が活躍できる場を創出する。 ・リーダー並びにフォロワーの育成を進め、所属感や達成感を高める特別活動を展開する。</p>	
	<p>キャリア教育の充実に努め、進路目標実現に向け努力を継続する生徒を育成する。 ・進路目標実現に向け努力を継続する生徒を育成する。</p>	<p>就職及び進学に対する計画的かつ組織的な指導体制を充実させ、進路指導の体系化を構築する。 ・各学年での適切なガイダンスと意識を高める取組を企画し、キャリア教育の充実を図る。</p>	
	<p>修学支援・教育相談の充実を図り、SCや訪問相談員等の外部専門家との連携・協働を推進する。</p>	<p>心豊かな人間性を育む道徳教育の充実を図り、社会の一員としての自らの在り方、生き方を考える力を育てる。 ・校内の教育相談体制をさらに充実させ、外部機関との適切な連携による、いじめや不登校等の早期対応に努める。</p>	
	<p>ものづくり教育や資格取得等、各学科の特色化及び充実を図る。 ・広く広報活動を行い、社会に開かれた地域貢献ができる学校づくりに取り組む。</p>	<p>資格取得や各種検定については、生徒個々の目的と目標に沿って、各教科・各学科において適切に助言し、指導する体制の構築を図る。また、課題研究への取り組みの充実により、課題発見・課題解決能力の育成を図る。 ・多様な広報媒体活用による積極的かつ戦略的広報活動に取り組む。</p>	
<p>働き方改革推進委員会を通して職員の働き方を見直し、職員の働きやすい環境作りや、不祥事を起こさない環境づくりに取り組む。</p>	<p>職員のワーク・ライフ・バランスを実現し、健康でやりがいを持って働くことができる職場の環境を整備する。 ・日頃の悩みを気軽に相談しあい、気になる点は職員同士がお互いに意見交流のできる、明るく風通しの良い職場環境づくりに努める。</p>		

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
学務課	・確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、1人1台端末を積極的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善に努める。</li> <li>到達度テスト結果の分析から、生徒個々の課題と基礎学力の定着並びに学力の向上を目指す。</li> <li>「ドリカムシート」を活用し、生徒の自学自習力の定着や自己研鑽力を育成する。</li> <li>特別時間割等で変更した科目の授業時間数の均衡を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期毎の実施授業時間数調査</li> <li>○ドリカムシート活用アンケート</li> <li>○シート活用頻度について 等</li> <li>○到達度テストアンケート</li> <li>○タブレット等活用アンケート</li> <li>○利用状況について</li> <li>○学校及び家庭における活用時間について 等</li> </ul>	
	・ものづくり教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業や大学との連携を促進し、課題研究や実習において質の高い教育実践となるよう創意工夫する。</li> <li>生徒個々が必要とする資格を精選することで、計画的な資格取得を支援する。</li> <li>ものづくりコンテストの参加に向けての技能訓練と、ウェルネス教育の理念を理解し、環境保護への実践的な技術力の習得に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高大企業連携アンケート</li> <li>○企業等による高度熟練者指導 等</li> <li>○大学教授による実践的指導 等</li> <li>○中学生体験入学アンケート</li> <li>○参加した学科への評価 等</li> </ul>	
	・デジタル学習コンテンツの開発と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>「一斉学習」「個別学習」「協働学習」それぞれの学習場面においてICT機器の効果的な活用推進を図る。</li> <li>学習動画コンテンツを活用した学習補充・自主学習の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業アンケート</li> <li>○得意分野について</li> <li>○苦手分野について 等</li> </ul>	
広報・情報課(図書)	・学校図書館の充実と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館蔵書の充実を図り、館内整備に努め、生徒が利用しやすい環境づくりに努める。</li> <li>来館者と貸出し冊数の増加のため、選書方法の改善や広報活動に努める。</li> <li>「朝読書」の意義を周知させ、充実した時間となるよう図書館の利用を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館の利用についてのアンケート</li> <li>○図書館の利用頻度について</li> <li>○利用しない理由等について</li> <li>○「朝読書」における、図書館蔵書利用について 等</li> </ul>	
	・生徒図書委員会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒図書委員会による図書館通信の年5回以上の発行、カウンター当番などの主体的活動を促す。</li> <li>他校の委員会活動との交流や読書会など、研修会への積極的な参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工業(専門)科に関する図書館利用についてのアンケート</li> <li>○図書館の利用頻度について</li> <li>○本の種類について 等</li> </ul>	
	・文化的行事の運営と情操教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校読書会・意見交流会を実施し、読書への関心を高め、コミュニケーション能力を養う。</li> <li>知性と教養を育む自己研鑽の場、適切な情報発信の場となるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後及び自学における図書館蔵書の利用に関するアンケート</li> <li>○図書館の利用頻度について</li> <li>○本の種類について 等</li> </ul>	
広報・情報課	・広報活動の促進充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>「八工News」を年6回以上発行する。</li> <li>学校HP、Twitter、Instagramの迅速な更新、管理運営を行う。</li> <li>本校に興味を持ってもらえるように、学校案内を充実させる。</li> <li>中学校訪問時の資料等に本校の広報活動を宣伝し最新の情報発信に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験入学における本校の情報発信に関するアンケート</li> <li>○体験入学に参加したきっかけについて</li> <li>○学校HPやSNS等の閲覧について</li> </ul>	
	・ネットワークの安定運用・ICTを活用した効果的な授業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末等の利用法を確立し、一人1台端末の充実を図る。</li> <li>ネットワークの安定運用を図り、情報セキュリティ対策を徹底する。</li> <li>校務用サーバーのデータの整理・適正化・暗号化を図る。</li> <li>効果的な学習活動に向けて、Googleサービス等の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ネットワーク及びICTに関するアンケート</li> <li>○ネットワークの安定運用について</li> <li>○タブレット端末等の利用について</li> </ul>	
生徒指導課	・社会貢献に主体的・協働的に取り組むことができる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的かつ積極的な挨拶やものづくり、自己決定の場の設定を通して、豊かな人間性を育み人から愛される生徒の育成を目指す。</li> <li>「いじめ防止・撲滅」に対する全職員・生徒の意識の高揚を図るとともに「いじめの早期発見・早期対応」を組織的に実践する。</li> <li>問題行動を未然に防ぐために、全職員が積極的な生徒指導を行い、問題行動が生じた際には、速やかに情報提供を行い、問題解決のために組織的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間3回のいじめアンケート・家庭用チェックリスト、年間9回の学校生活アンケートの実施</li> <li>○特別指導対象生徒数の減少</li> </ul>	
	・交通安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>二輪車安全実技教室や二輪車安全講話を通して、交通ルールに関する意識の高揚を図る。</li> <li>PTA合同の校外指導などを活用し安全運転の啓発を行い、家庭での交通安全規範意識向上の一助とし、交通事故交通違反を未然に防止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間2回の二輪車安全実技教室</li> <li>○年間1回の二輪車安全講話の実施</li> <li>○交通事故前年度比30%減少を目指す</li> </ul>	
	・生徒の自主的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動を通して共感的人間関係の構築、積極的挨拶、体力の向上と健康増進を図る。</li> <li>学校行事等における生徒の自主的運営の更なる充実と新たな挑戦を通して自己決定感を育て、失敗した経験も糧に成長を促す生徒指導を実践する。</li> <li>生徒会や学科リーダー等による主体的な活動を促していくとともに、自己存在感や自己有用感の育成を行い、八工生としての自覚と誇りや責任感を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動加入率90%以上を目指す</li> <li>○学校行事後のアンケート実施</li> </ul>	
保健環境課	・自己管理能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝の健康観察を通じて、感染症等の予防と早期対応による感染防止に努める。</li> <li>各種行事を通じて健康・安全への啓発と実践力の育成を図る。</li> <li>保健委員長を中心に、月1回以上の主体的な委員会活動を支援し、活動の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健委員会の活動回数の調査</li> </ul>	
	・美化意識の向上と環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>美化委員会の月1回以上の主体的な委員会活動を支援し、各クラスの美化委員の意識を高めることで、全生徒による校内美化を図る。</li> <li>学校行事及び日々の活動において、各クラス美化委員が、清掃への取り組みを積極的に行う。</li> <li>日々の清掃活動や各種行事を通じて、ごみの分別を徹底し、環境の保全に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美化委員会の活動回数の調査</li> </ul>	
	・修学支援・教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒・保護者に対する啓発ならびに情報提供に努め、相談しやすい体制をつくる。</li> <li>月1回カウンセラーを交えた教育相談委員会や生徒支援委員会を開き、各担任、各分掌、SC、SSW、訪問相談員、関係諸機関と連携して組織的な修学支援を行う。</li> <li>一人一人の権利が大切にされている学校づくりを進めることによって、生徒の修学を保障する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育相談委員会・生徒支援委員会の開催回数の調査</li> </ul>	
就職対策課	・企業就職希望者に対する支援と100%内定合格	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業観や労働観、職業に関する知識や技能を身に付けさせる。</li> <li>3学年担任・学科と情報交換を密にし、求人情報等を共有する。</li> <li>生徒へ求人票の早期公開に努める。</li> <li>ミスマッチと早期の離職防止を目指し、企業情報の収集に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業就職希望者</li> <li>○一次内定率</li> <li>○最終内定率</li> </ul>	
	・公務員希望者に対する支援と100%合格	<ul style="list-style-type: none"> <li>公務員一次試験の合格者を増やし、また、二次試験(面接)対策を充実させる。</li> <li>各教科と協力・連携し、朝課外や土曜セミナー等を通して、学習支援の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公務員希望者</li> <li>○一次合格率</li> <li>○最終合格率</li> </ul>	
進学指導課	・基礎学力の向上と進学に必要な知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝課外授業の実施により、基礎学力の向上を図る。</li> <li>進学説明会を実施し、入試方法や手続きおよび進学先に関する情報収集に努めるように支援する。</li> <li>外部講師による説明会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進学希望者保護者対象アンケート</li> <li>○入試概要について</li> <li>○推薦入試・一般入試について</li> </ul>	
	・主体的な進路選択の実現と第1志望100%合格	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学希望調査を実施し、詳細を調べさせることによって主体的な行動を促す。また、これを用いて必要に応じ個別指導を行う。</li> <li>オープンキャンパスへの参加を促進する。</li> <li>生徒への大学等の情報提供を積極的に行い、生徒の主体的な行動を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進学希望者</li> <li>○第1志望校合格率</li> <li>※指標は本校で集計する進学実績</li> </ul>	
研修課	・「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのICTを効果的に活用した授業改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンクラスを設け、授業改善に努め、教科の指導力向上を図る。</li> <li>授業アンケートを年2回実施し、教員の授業改善と生徒の自学力育成を図る。</li> <li>授業アンケートの集計・結果報告書作成等を速やかに行い、結果を還元する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オープンクラス実施後アンケート</li> <li>○授業アンケート</li> </ul>	
	・職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの活用のための校内職員研修会の充実を図る。</li> <li>教員の自己研鑽の場として、校外研修への積極的な参加を促す。</li> <li>授業アンケートの集計・結果報告書作成等を速やかに行い、結果を還元する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修後アンケート</li> </ul>	
	・研修成果の還元と共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究紀要の作成を計画的に行い、研修の成果を職員に還元する。</li> <li>各研修会の報告会を実施し、研修成果を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発行後のアンケート実施</li> </ul>	

様式3

庶務課	・行事の綿密な企画立案	・行事毎に業務の進捗状況を共有し、協力して業務を遂行する。 ・業務分担や業務内容の明確化を図り、早めに準備できるようにする。 ・教員・生徒がより所属感を持てるような式典等を企画立案する。	○式等における生徒アンケート ・所属感はどうでしたか	
	・PTAとの連携と活動の支援	・PTA主催行事を全職員が協力・支援する。 ・学校行事やPTA行事への参加者が増えるように、広報活動等を工夫する。	○PTA行事の周知について	
	・関連部署との連携とデータ活用の推進	・行事の実施案を早期に提示できるように、関係部署との連携を密にする。 ・行事記録を整理し、関連部署との共有と有効利用を図る。 ・学校行事等でICT活用を推進する。	○式等における生徒アンケート ・充実度はどうでしたか	
人権教育	・人権教育の充実と発展	・生徒の実態とニーズに応じた人権教育授業を実施し、差別を見抜き許さない力を保障するとともに、「ありのままの私」で生きられる、人権が尊重される社会を実現しようとする主体を育てる。 ・職員の研修参加態勢の充実をさせ、人権教育に係る指導力の向上を図る。 ・人権教育に関する情報提供の充実を図る。	○授業についての生徒アンケート ○研修参加状況の集約	
	・基本的な生活習慣の確立	・基本的な生活リズムの確立を促し、皆勤者80%を実現する。 ・心身ともに健康で過ごせるように、積極的な生活指導に向けて学年団での情報共有を徹底する。	○校務支援システムによる出欠状況の調査	
第1学年	・規範意識の向上	・気持ちの良い挨拶や返事など、愛される人間を目指した礼儀作法を徹底する。 ・ルールやマナーの大切さを学び、規則を守るなど自覚ある行動をとることで人から信頼される人間を目指す。	○学校満足度アンケート	
	・学習習慣の確立と基礎学力の育成	・授業規律と家庭学習の習慣を向上し、維持・継続できるようにする。 ・進路実現に向けて専門的な資格取得を積極的に挑戦させ、目標を持った学習態度を育成する。	○授業アンケート実施	
	・自律的行動ができる生徒の育成	・皆勤者7割(163名)を目指し、定期的に家庭と連絡をとりながら自律的行動ができる生徒の育成を目指す。 ・中堅学年として主体的に学校行事等に参加し、自分の個性を活かしながら意見の違いや相手の立場を理解する力の向上を目指す	○校務支援システムによる出欠状況の調査	
第2学年	・考え抜く生徒の育成	・外部講師等との関わりを通して進路実現に向けた情報収集ができる。また、自分の適性を理解して他の生徒と協力し、課題解決ができる生徒を育成する。 工場見学やインターンシップ等を体験させ、職業観を醸成する。	○インターンシップ回答書	
	・基礎学力の向上	・家庭学習の習慣化を目指し、計画を立てて学習する生徒の育成。 ・目標を明確にし、自ら行動できる生徒の育成を図る。	○授業アンケート実施	
	・社会に通用するための人材育成	元気がある気持ちのこもった挨拶ができるようにする。 集団の一員として、集団での役割に応じた手助け、貢献できる実践者を育てる。	○学校生活アンケート	
第3学年	・生徒の志望する進路実現の達成への支援	進路目標を明確にし、その実現を目指して授業や課外授業等に積極的に取り組み実社会で生き抜くために必要な学力を身につけさせる。 キャリア教育部を中心に学年団、各専門学科と連携を図り、個々が志望する進路実現を果たす。	○授業アンケート ○スタディサプリ ○進路別模試 ○進路希望調査	
	・状況に応じた自ら考え、感じて行動できる実践者の育成	自ら考え、判断し、様々な場面で自他ともに幸福感を感じられるような行動ができるようにする。 学校行事や日常の学校生活において、常に下級生の模範となる行動がとれるようにする。	○学校生活アンケート	
	・授業の改善と充実と努める	ICT機器を活用し、生徒が分かりやすい授業を行う 板書やスクリーンの文字配置等に気を配り、見やすくなるよう配慮をする 常に生徒の反応を見ながら授業改善を行う。	○授業アンケート実施	
電子機械科	・社会人としての基本マナーと社会常識を習得させる	インターンシップへ向けて挨拶や返事、報告・連絡・相談等、社会に出るために必要な態度を育成する。 就職試験に関する知識やモラル等の育成を行う 自分の進路に対しての具体的な目標を立てさせる	○インターンシップについての企業アンケート ○受験報告書 ○進路希望調査	
	・生徒が安心安全に学校に登校できる環境づくり	生徒の心身の健康状態を把握し、改善に努める 授業に参加しやすい学級づくり、授業づくりを行う 実習における危機管理や安全管理を徹底する	○健康監査簿 ○学校生活アンケート ○いじめアンケート ○出席簿 ○実習レポート等	
	・授業の改善と新しい評価方法の構築に努める	・主体的・対話的で深い学びのためのアクティブラーニング型授業を推進すると共に、 新学習指導要領に沿った、新しい評価の方法の定着を図る。 ・授業や実習のあらゆる場面で、ICTの活用を推進する。 ・教育活動のあらゆる場面で、リーダーシップとコミュニケーション能力を育成する。	○授業アンケート ・専門科目の理解度はどれくらいですか。 ・先生方はどれくらいICT機器を活用していますか。	
自動車科	・職員の専門性と教科指導力を高め、学科の改善へ対応する。	・IT自動車科への改善に求められる知識・技術・技能について全職員で研究を行う。 ・令和5年度ものづくりコンテスト福岡県大会の事務局業務に全職員一丸となって取り組む。 ・ものづくりコンテスト(自動車整備部門)において、全国大会優勝を目指す。	○生徒・保護者アンケート ・自動車科では最新技術が学べていると感じますか。 ○ものづくりコンテスト出場者アンケート ・大会満足度を教えてください。	
	・生徒および保護者の、自動車科満足度160%を達成する。	・全自動車科関係職員で団結して3年生の進路指導にあたり、生徒全員、第1希望の進路を実現させる。 ・3級自動車整備士試験および技能検定試験(機械検査)において合格率100%を目指す。 ・生徒全員がキラキラと輝き活躍できるように、生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な教科指導、生徒指導に全自動車科関係職員で取り組む。	○生徒・保護者アンケート ・自動車科で3年間学んだことの満足度はどれくらいですか。 ○3級自動車整備士試験合格率	
	・座学と実装・実習との連携を強め専門教科の指導を充実させる。 ・自ら学習する意識と行動力の育成を目指す。	・進路先の実務内容に対応できる実習を取り入れ、座学と実習の連携を強める。また、ICTを使った教育に力を入れる。 ・ものづくりに関連する項目を各学年で設定し、生徒の意欲・関心を高めさせ、学力の向上に繋げる。 ・問題解決能力とコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力の育成を図る。	○ICTの利活用アンケート ○電気科課題研究発表会のアンケート	
電気科	・社会人としての基本マナーと社会常識を習得させる。 ・産学官連携事業を通して職業観・勤労観を養い、実社会で生きる力を育成する。	・日頃より服装、挨拶、清掃、遅刻、欠席、言葉遣い等に対する指導を徹底する。 ・学校や科・クラスへの帰属意識を高め、学校行事に積極的に参加する意識を養う。 ・産学官連携事業を通して、電気業務に必要とされる責任感・安全性・使命感等の人間性を育てる。	○生活習慣等のアンケート ○インターンシップ企業アンケート ○高度熟練者実習指導後のアンケート	
	・第二種電気工事士の全員取得を目指す。 ・職員間での進路に対する共通理解と企業情報を共有して、生徒の進路実現を目指す。	・第二種電気工事士の全員取得を目指す。 ・高度資格の指導を行い、自ら学び成長し社会貢献する意識を育てる。 ・全職員で学習指導や面接指導等に力を入れ、生徒の進路実現を目指す。	○第二種電気工事士受験後のアンケート ○3年進路決定後のアンケート	

様式3

情報技術科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え行動する力を育て、心豊かな人間の育成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や学級活動等への主体的な取り組みを通して、協調性やコミュニケーション能力、自ら考え行動する力を育てる。</li> <li>・クラス担任や教科担当者及び関係機関と協力し、生徒の状況を的確に把握する。</li> <li>・思いやりの心や感動する心、達成感を通して自己肯定感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事後のアンケート</li> <li>○いじめアンケート</li> <li>○学校生活アンケート</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を充実し、実践的技術者としての意識と資質や、主体的に進路を選択できる能力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場見学やインターンシップ等を通して、職業観・勤労観を育む。</li> <li>・進路情報を職員で共有し、一人ひとりに応じた指導を行うことで、全員の進路実現を目指す。</li> <li>・高度熟練者による実践的な実習指導などを通して、技術の向上を図り、技術者としての資質を高める。</li> <li>・資格取得に関しては、個々の目標を達成できるよう適切な指導を行う。第2種デジタル通信は80%以上、ITパスポートは50%以上の合格率を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターンシップ企業アンケート</li> <li>○就職希望者、進学希望者の希望先合格率</li> <li>○高度熟練者による学校での実践的実習指導後アンケート</li> <li>○2級デジタル通信、ITパスポート合格率、資格取得者数</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な学びを通して、学力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の活用を図ると共に、座学と実習の連携強化に努める。また、表現の場や協働の機会を数多く設け、理解力や表現力を高める。</li> <li>・最新技術であるAIやIoT、また、Python等多言語にも取り組み、情報技術への意欲的態度を育成する。</li> <li>・ものづくりコンテスト(電子回路組立部門)の上位入賞を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業アンケート</li> <li>○実習レポート</li> <li>○ものづくりコンテスト後アンケート</li> </ul>
土木科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習する力を育成し、意欲と学力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が目標を持って主体的に学習できるよう観点別評価を充実させ、学力の向上を図る。</li> <li>・ICT機器を積極的かつ効率的に活用し、学ぶ姿勢を含めた学力向上を図る。</li> <li>・生徒を主体とした対話的な授業を展開し、互いに高め合える環境を作り、深い学びに繋げる。</li> <li>・職員の技術継承・技術向上を図り、座学と実験・実習との連携を強める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土木科専門科目に関するアンケート(生徒対象)</li> <li>○土木科実験・実習に関するアンケート(生徒対象)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を充実し、主体的に進路を選択できる能力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現に対する計画的かつ組織的な指導体制を充実させる。</li> <li>・適切なガイダンスと意識を高める取り組みを企画し、生徒の進路選択の幅を広げる。</li> <li>・HR活動を通して、生徒の発言する場を増やし、他の意見を尊重し互いにアドバイスをすることで、コミュニケーションの向上に努める。</li> <li>・スケジュール管理や提出書類の把握など、社会性を身につけさせ、即戦力となる人材育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生キャリア教育アンケート</li> <li>○2年生キャリア教育アンケート</li> <li>○3年生キャリア教育アンケート(すべて生徒・保護者対象)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり教育の充実教育や資格取得等の充実を努め、実践的技術者としての意識と資質を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップや現場見学、高度熟練者による実習指導を充実させ、土木職に関する意識向上を図る。</li> <li>・測量士補25名以上、2級土木施工管理技術検定30名以上の合格を目指す。資格指導の充実を図り、ジュニアマイスターシルバー以上の認定者30名以上を目指す。</li> <li>・ものづくりコンテスト福岡県大会3連覇に向け、職員・生徒間での技術継承を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターンシップアンケート(受け入れ先事業所、生徒対象)</li> <li>○資格試験アンケート(生徒・保護者対象)</li> <li>○ものコン選手アンケート(生徒・保護者対象)</li> </ul>
工業化学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習する意欲と学力の向上を目指し、確かな学力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門科目および実習における観点別評価を定着させ、生徒が目標を持って主体的に授業に臨めるようにする。</li> <li>・アクティブラーニング型授業の展開や、ICT機器を活用することで、授業や実習の改善・充実に努め生徒が理解しやすい授業となるよう工夫する。</li> <li>・実習等において、生徒に化学技術をしっかりと身に付けさせるためにも、教員間での工業化学に関する実習の技術・技能の継承を行いスキルアップを図る。</li> <li>・専門科目や資格取得において、課題等を工夫して行い、家庭学習を含めた学習習慣を身につけさせると共に、自ら学ぼうとする姿勢を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業アンケート</li> <li>・ICT機器を活用しているか</li> <li>・授業の分かった所、わからなかった所</li> <li>・実習の安全性について</li> <li>・自宅での勉強時間</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として通用する資質・能力を身につけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる生徒に関しては、教員間で情報交換を密に行うと共に、保護者と連携を取りながら組織的に対応する。</li> <li>・生徒に対して体調管理について意識付けを行い、遅刻や欠席を減らし、工業化学科全体で70%以上の皆勤者を目指す。</li> <li>・教室や実習室の環境整備を心掛けさせ、規範意識の向上に努める。</li> <li>・実習や学校行事において、生徒にそれぞれの役割を責任感をもって取り組ませると共に、成功体験を通し、自尊感情の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○皆勤率</li> <li>○学校行事後のアンケートなど</li> <li>・行事満足度と行事に積極的に取り組めたか</li> <li>○学校生活アンケート</li> <li>・学校生活における問題点</li> <li>○保護者へのアンケート</li> <li>・生徒が学校での出来事についてどのように話していますか</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導の充実と進路実現を目指し、キャリア教育の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得において、科の職員全員で協力して補習等による指導を行い、特に難関資格である甲種危険物取扱者や高圧ガス製造保安責任者等の資格保有者を増やす。</li> <li>・科の職員全員で3学年担任をサポートし、学習・面接等の指導し、就職希望者の一次合格率100%を目指す。女子生徒の進路希望実現に向けキャリア教育部、学年と連携して取り組む。</li> <li>・日々の授業や行事等において積極的に参加させ、リーダーシップやコミュニケーション能力等の社会人として必要となる資質を身に付けさせ、卒業後も活躍できる生徒の育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職希望者の1次合格率</li> <li>○資格取得者数</li> <li>○学校行事後のアンケートなど</li> <li>・行事満足度と行事に積極的に取り組めたか</li> </ul>
事務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営目標の実現のため、効果的な事務処理を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒保護者に対し、丁寧で分かりやすい情報提供を行う。</li> <li>・定期的に行内巡視を行い、修繕等必要な箇所を把握するとともに、必要に応じて予算要求を行い適切な施設の維持管理に務める。</li> <li>・節電、用紙の節約等を積極的に呼びかけ、経費の節減を図り、教育活動充実のための効果的な予算執行に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○奨学金案内等のわかりやすい内容での作成</li> <li>○衛生委員会等での情報提供の呼びかけを行う</li> <li>○電力使用量・用紙使用量の削減</li> </ul>